

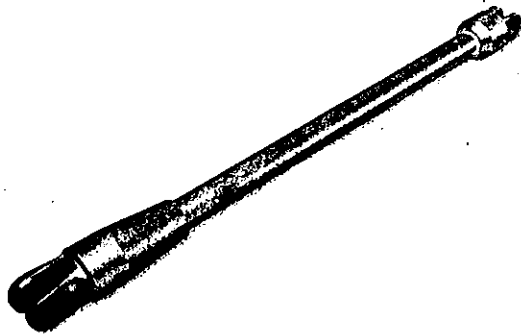
座屈拘束フレース

JFE、デザイン性追求

新製品、スリムな形状実現

JFEスチールは27日、JFEシビルともに、デザイン性に優れた座屈拘束フレース「J-RDフレース」を写真Ⅱを開発したと

発表した。従来製品と比べて外径は2-3割小さくなり、スリムな形状を実現した。日本建築総合試験所から建築技術性能証明を3月に取得している。10月から本格的な販売を開始



品では、芯材に棒鋼を使用することで外径を縮小し、建物の外観などにも配慮したスリムな構造とし、ニーズに合った。スリム化すると、一般的に部材が座屈しや

始する予定で、建物に対する耐震・制震補強のニーズに 대응することで市場で普及を図る。建物の外壁や窓面に取り付けるため、耐震・制震部材に対してもデザイン性を求めるケースも多い。新商

すくなるが、独自の補剛工法を使い部材の座屈を防止。JFEスチールとJFEシビルの技術により、構造安全性、設計法、仕様が適切と認められて、建築技術性能証明を取得した。また、部材の生産にも配慮した。すべての部品をネジ接合しているため、生産効率が大幅に向上。溶接なしで簡単に組み立てられる構造にした。